



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ
 コード番号 3924 URL <http://www.rand.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 諸島 伸治

(氏名) 小野 敏

TEL 03-5232-3046

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,204	—	350	—	311	—	197	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	120.26	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注)1. 平成27年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

(注)2. 当社は、平成27年8月3日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、平成28年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,008	—	2,459	—	61.3	—
27年3月期	3,565	—	1,771	—	49.7	—

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 2,459百万円 27年3月期 1,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	60.00	60.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2. 当社は、平成27年8月3日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、平成27年3月期の配当額は、株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,150	12.9	466	25.1	472	14.1	282	23.8	164.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)2. 当社は、平成27年8月3日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、平成28年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(注)3. 1株当たり当期純利益は、公募株式数(290,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(63,500株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	1,931,500 株	27年3月期	1,641,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	— 株	27年3月期	33,500 株
----------	-----	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	1,640,350 株	27年3月期3Q	— 株
----------	-------------	----------	-----

(注)1. 当社は、平成27年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の期中平均株式数は記載していません。

(注)2. 当社は、平成27年8月3日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、平成27年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和のもとで、企業収益や雇用・所得環境の改善、訪日外国人によるインバウンド需要の拡大等を背景に緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れの懸念や、米国の利上げ、原油価格下落の影響等により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社が属する情報サービス業界においては、昨年度に引き続き顧客企業の収益に伴いIT投資が堅調に推移していることに加え、マイナンバー関連の需要や金融系の大型案件の需要等により事業環境は緩やかな回復基調が続いておりますが、その一方で業者間の受注競争の激化に加え、パートナー企業を含む開発要員獲得の面で厳しい経営環境が続いており、引き続き人材の確保と育成が経営課題の1つとなってきております。

このような環境の下、当社におきましては、引き続き既存顧客とのパートナーシップの強化に努め、継続的な受注確保・拡大を図るとともに、クラウドコンピューティングサービス分野を主体として新規顧客の開拓に注力した結果、売上高、営業利益ともに堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は5,204,503千円、営業利益は350,473千円、経常利益は311,351千円、四半期純利益は197,267千円となりました。

当社事業のサービスライン別の業績を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）
システムインテグレーション・サービス	4,162,189
インフラソリューション・サービス	612,514
パッケージベースS I・サービス	429,799
合計	5,204,503

(システムインテグレーション・サービス)

売上高につきましては、金融分野におけるネットバンク案件を中心とした受注の拡大、産業流通分野における電力小売全面自由化案件の受注が堅調に推移したことなどにより、売上高は4,162,189千円となりました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高（千円）
金融	1,936,103
（うち銀行）	1,185,565
（うち保険）	194,191
（うち証券）	120,635
（うちクレジットカード）	435,710
産業・流通	1,736,401
公共	231,141
医療	258,542
合計	4,162,189

（インフラソリューション・サービス）

サーバ及びネットワーク構築案件、アプリ基盤構築案件などの受注が堅調に推移したことにより、売上高は612,514千円となりました。

（パッケージベースS I・サービス）

当社のクラウドコンピューティングサービスの中心であるSalesforce関連及び会計システムパッケージの導入案件の受注が好調であったことにより、売上高は429,799千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は4,008,677千円となり、前事業年度末と比較して443,203千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が663,253千円増加、システム開発の進捗により仕掛品293,971千円増加、未収還付法人税等が34,941千円増加、差入保証金が49,842千円増加し、一方で、売上債権が523,334千円減少、投資有価証券が18,901千円減少、繰延税金資産が48,433千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,549,643千円となり、前事業年度末と比較して244,444千円の減少となりました。これは主に、買掛金が23,936千円増加、未払費用が49,367千円増加、預り金が79,997千円増加し、一方で、賞与、役員賞与の支給により賞与引当金及び役員賞与引当金が143,410千円減少、納税により未払法人税等及び未払消費税等が290,980千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,459,034千円となり、前事業年度末と比較して687,648千円の増加となりました。これは主に、公募により資本金及び資本準備金がそれぞれ234,784千円増加、利益剰余金が177,971千円増加、自己株式処分により自己株式が36,032千円減少、自己株式処分差益が18,210千円増加し、一方で、その他有価証券評価差額金が14,134千円減少したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成27年12月11日付発表の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の記載から変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（63,500株）を含めた期中平均株式数にて再度算出し、164.23円となる予定であります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,359,577	2,022,830
受取手形及び売掛金	1,630,424	1,107,089
仕掛品	99,656	393,628
前払費用	38,212	35,861
繰延税金資産	139,064	74,421
未収還付法人税等	—	34,941
その他	390	406
流動資産合計	3,267,325	3,669,180
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	34,103	30,235
工具、器具及び備品（純額）	20,454	17,952
有形固定資産合計	54,558	48,188
無形固定資産		
ソフトウェア	36,424	37,244
無形固定資産合計	36,424	37,244
投資その他の資産		
投資有価証券	80,099	61,197
差入保証金	33,703	83,545
ゴルフ会員権	3,600	3,600
繰延税金資産	91,262	107,471
貸倒引当金	△1,500	△1,750
投資その他の資産合計	207,164	254,064
固定資産合計	298,148	339,497
資産合計	3,565,473	4,008,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	429,177	453,113
短期借入金	100,000	100,000
未払金	39,878	39,406
未払費用	84,660	134,028
未払法人税等	165,830	—
未払消費税等	158,234	33,084
前受金	22,255	42,686
預り金	35,831	115,829
賞与引当金	307,941	167,830
役員賞与引当金	19,600	16,300
受注損失引当金	19,503	8,580
流動負債合計	1,382,914	1,110,858
固定負債		
長期末払金	100,000	100,000
退職給付引当金	311,173	338,784
固定負債合計	411,173	438,784
負債合計	1,794,087	1,549,643

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	171,111	405,895
資本剰余金	9,170	262,165
利益剰余金	1,599,522	1,777,493
自己株式	△36,032	—
株主資本合計	1,743,771	2,445,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,614	13,480
評価・換算差額等合計	27,614	13,480
純資産合計	1,771,386	2,459,034
負債純資産合計	3,565,473	4,008,677

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,204,503
売上原価	4,378,775
売上総利益	825,727
販売費及び一般管理費	475,254
営業利益	350,473
営業外収益	
受取利息	164
受取配当金	789
その他	1,357
営業外収益合計	2,311
営業外費用	
支払利息	1,218
株式公開費用	39,965
貸倒引当金繰入額	250
営業外費用合計	41,434
経常利益	311,351
税引前四半期純利益	311,351
法人税、住民税及び事業税	58,907
法人税等調整額	55,176
法人税等合計	114,083
四半期純利益	197,267

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成27年12月11日に東京証券取引所市場第二部に上場し、平成27年12月10日を払込期日とする公募増資による新株式290,000株の発行及び自己株式33,500株の処分を行いました。これにより資本金及び資本準備金がそれぞれ234,784千円増加し、自己株式が36,032千円減少しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が405,895千円、資本剰余金が262,165千円となりました。自己株式の残高はありません。

（重要な後発事象）

（第三者割当による新株の発行）

当社は、平成27年11月6日及び平成27年11月20日開催の取締役会において、野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式63,500株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議しており、平成28年1月12日に払込が完了いたしました。